

日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887) 12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
 明治28年(1895) 12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
 昭和27年(1952) 10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数 (令和5年3月31日付)

個人 2,753人 / 法人 397社

3. 評議員 (令和5年3月31日付)

29人

4. 役員 (令和5年12月21日付)

支部長 宮下 宗一郎
 副支部長 小谷 知也、熊谷 雄一、工藤 順巳
 本社理事 木明 昭一郎
 本社代議員 木明 昭一郎、村井 達、成田 耕造
 支部監査委員 若佐谷 典人、加川 史、高橋 文雄

5. 赤十字奉仕団 (令和5年3月31日付)

区分	団数	登録数
地域	47 団	6,767 人
青年	4 団	180 人
特殊	9 団	644 人
合計	60 団	7,591 人

6. 青少年赤十字 (令和5年3月31日付)

区分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	203 園	10,966 人
小学校	104 校	16,342 人
中学校	49 校	8,369 人
高等学校	51 校	967 人
特別支援学校	3 校	65 人
合計	410 校	36,709 人

指導者数 4,900 人

7. 青森県赤十字有功会員 (令和5年3月31日付)

個人 194名 / 法人 142社・団体

8. 講習普及活動 (令和5年3月31日付)

区分	講習回数 (令和4年度)	受講者数 (令和4年度)	指導員数
救急法	125回	3,194人	98人
水上安全法	10回	569人	30人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼児安全法	3回	36人	14人
合計	138回	3,799人	147人

※指導員養成講習を除く

9. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
ラオス救急法普及支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

10. 災害等救護

救護班(令和5年3月31日現在)	8 班 56名	
無線局(同上)	基地局 6 / 移動局 39	
救護車輛(同上)	4 台	
受付義援金(同上)	166件 106,472,027円	
配付救護物資(令和4年度)	毛布	1,177枚
	緊急セット	557個
	安眠セット	131個
	タオルケット	566個
	バスタオル	56枚

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床(一般374床、精神60床)

総患者数(令和4年度)		一日平均患者数(令和4年度)	
入院患者	111,539人	入院患者	302.8人
外来患者	153,028人	外来患者	629.7人

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数(令和5年3月31日現在)	
血液センター	1	献血バス	4台
出張所	3	献血運搬車両	15台
献血者数(令和4年度)		供給本数(令和4年度)	
200mL	1,312人	全血製剤	0本
400mL	32,101人	赤血球製剤	73,112本
血漿成分	10,516人	血漿製剤	18,728本
血小板成分	3,198人	血小板製剤	101,075本
合計	47,127人	合計	192,915本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢体不自由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

14. 施設及び職員数

区分	職員数
支部	11人
八戸赤十字病院	560人
青森県赤十字血液センター	56人
はまなす医療療育センター	82人
合計	709人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計(令和5年度当初予算)

: 千円

一般会計	歳入	歳出
支部	235,000	235,000
社会福祉施設特別会計	歳入	歳出
はまなす医療療育センター	918,892	918,892
医療事業特別会計	収益的収入	収益的支出
八戸赤十字病院	10,880,745	11,226,197

- ・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。
- ・特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在。